マイトップニュース

地元活性化 貢献したい

笹村（ささむら） 舞（まい）さん

（勝山南部中３年）

私がこの記事に興味を持った理由は、将来の夢が、地元の活性化に貢献することだからです。記事を読んで、大野市の文化や暮らしに、都会の若い人が関心を持ってくれていることがうれしかったです。「職業だけにとらわれない生き方が刺激になる」「古いものを丁寧に残している」という感想を知り、私も大野の良さに気付けました。

このような活動は、地方の人にとっては、地元の宣伝になると同時に地元の良さを再発見する機会となります。都会の人にとっては、普段できない地方の暮らしを体験することで、その土地の良さに気づく機会となります。

私が住む勝山も自然豊かで歴史を感じられる町です。私は中学３年間、総合的な学習の時間を利用して、勝山の活性化について考えてきました。他市や中学校での取り組みを参考に、夢である「地元の活性化に貢献すること」が実現できるように高校進学後も学んでいきたいです。

大野の暮らし、文化理解

市体験会 都会の若者ら滞在、交流

大野市を訪れ市民と交流を重ねる参加者たち＝10日、大野市馬場町のゲストハウス「ナマケモノカフェ」

大野市が同市の魅力や、また「体験交流会」が12日まで、市内で開かれている。自然に関心を寄せる都会の人たちを対象に企画し、若者ら10人が訪れ、まちづくりに取り組む市民や農家などと交流し暮らし、文化について理解を深めている。

将来の移住を見据え同市のファンを増やそうと、市が本年度から東京や関係人口（地域外の様々な関わり方が創出になる）」と開催。みずほアカデミー（一般財団法人岡市の振興を学んだ若者らが10日から2泊3日の日程で楽しんでいる。

初日、大雪の中を訪れた参加者は同市隅町の古民家を改修したゲストハウス「ナマケモノカフェ」（28）＝岡＝は「神社や民家など、古いモノを丁寧に残している印象がある。ここに暮らす人の生活を深く知りたい」と話していた。（寺島麗哉）

福井新聞

© 福井新聞社 無断複製・転載を禁じます